

令和4年度 第2回三島市郷土資料館運営協議会議事録

<日時> 令和5年3月17日（金）午後1時30分から午後2時44分まで

<場所> 郷土資料館 多目的室

<会議の公開・非公開の別> 公開

<出席委員の氏名> 迫田信行、加藤雅功、奥村徹也、増島淳、橋本敬之 坪井則子、
齋藤幸蔵、小藪余志美、大村朱実

<事務局出席者氏名> 寺田文化財課長 芦川郷土資料館長 柿島学芸員、保科学芸員、水口副
主任

<傍聴人> なし

<内容>

- 1 開会 事務局
- 2 教育長あいさつ 寺田文化財課長（教育長、部長欠席のため）
- 3 委員長あいさつ 迫田委員長

この後職員紹介を実施。

- 4 議事（慣例により迫田委員長が議長で議事進行を行う。）

- (1) 令和4年度事業経過報告について 芦川館長が説明。また、第1回で質問のあった購入史料の内訳を説明した。

<委員質疑>

奥村委員 郷土資料館では、史料をどのように探し、購入しているか。

事務局（柿島）古書店のカタログや案内から探す。良さそうなものがあれば、写真あるいは現物を送ってもらい内容を確認している。ネットオークションは市役所の決済方法では購入が難しい。また、すでに所有している史料か確認も必要である。

大村委員 ボランティアの体験で屏風の下張り古文書を剥がす体験をしたが、和紙はすごいと思った。その時も水を使ったのだが、館内に水道を使える部屋があれば更に良いのにと毎年思う。郷土教室もそういった場所でできると良いなと思う。

加藤委員 流しは館内にあるか。

事務局（館長）給湯室にあります。

加藤委員 わら細工と紙漉き体験は市民に評判が良いかな。富士市でも紙漉きは子供や外国人が喜ぶ。

事務局（館長）前回協議会で今まで郷土資料館の累計来館者数について質問を受けましたが、現在312万人台で400万人記念にはまだ遠いことが判明した。

加藤委員 博物館の利用者の高齢化がすすみ、若者が消えて高齢者が目立つ。子どもが来る雰囲気が無いことが多いが、ここは子どもの来館者が多く、三島がうらやましい限り。

迫田委員 伊豆の国市では郷土資料館をどうするか。大河ドラマ館は1年限りで開いているので、その後に郷土資料館としたらどうかとの市長の発言に対し市民団体の反対で頓挫してしまった。伊豆の国市長に長期計画で郷土資料館を建設してはどうか提案した。過去に三島も楽寿園の隣に建設する計画が出たがダメになった。

山梨県の都留市にはこじんまりとした博物館がある。以前は韮山郷土資料館が江川邸にあったが借地契約期間が過ぎて取り壊され、伊豆の国市中央図書館内に移設された。3町が合併しているが韮山だけ目立つ形でどうしても差がある。また、地元の学校に存在が知られていない。

三島は小中学生が来館している。学校から依頼が来ているなど地域に愛されている。また、これだけの予算で運営していることがすごい。企画力もすごいと感じる。

橋本委員 駅南再開発で、三島駅を降りたら楽寿園に直結するというように伊豆の玄関口としての三島の都市計画全体の中で楽寿園や資料館を位置付けると素晴らしくなる。宿場町、宿場の伝統として遠州屋染め物店や刃物屋、そして、店の屋号が残っている。まち全体でそういう伝統を残しながら計画できればいいなと思っている。そうすれば愛されるまちになるのではないか。

事務局（館長）通称「歴まち」という「歴史まちづくり法」で城や神社仏閣など歴史上価値の高い建築物またはその周辺の歴史的建造物で歴史や伝統を反映した人々の生活を維持向上することを目的とした法律がある。

奥村委員 その事業を進める旗振り役は必要か。

事務局（館長）三島市は市長も頑張って平成18年に県下初の認定を受けた。

迫田委員 郷土館から郷土資料館に名称が変わったが、石碑はそのままだね。

事務局（館長）石造物として残したい。

加藤委員 看板だから郷土資料館にしないといけないのでは。

事務局（館長）リニューアルの時色々意見があがったと思うので確認する。

(2) 令和5年度事業計画（案）について柿島学芸員が説明

<委員質疑>

橋本委員 来年度くん蒸作業は無いが、他に予算や事業では変わったことはあるか。

事務局（水口）本年度と比較して変更となったものはあまりない。

事務局（柿島）補足ですが、三島宿展は地方創生交付金の1/2補助対象となっている。

橋本委員 3市博物館連絡協議会の企画展は行わないのか。

事務局（柿島）隔年で巡回企画展を実施しているため、来年度は企画展を行わず、刊行物を作成する。

橋本委員 三島宿のくらしで伝統について取り上げたらどうか。

事務局（館長） 富士市から旧石器時代について強い要望があったので。

加藤委員 3市博物館連絡協議会の企画展について、現在世代交代が進み歴史的なものが失われる危機的状況となっているのではないかと。宿場をキーワードに大通り、看板建築、プロムナードなど多角的に掘り起こした企画をしてほしい。

事務局（柿島） 3市がそろって行うためには、宿場をテーマにすると各市の資料に偏りがあって難しいので、他のテーマと絡める形で宿場を扱えるよう検討する。

橋本委員 東海道の風景、沼津城、吉原市街など宿場の特徴が出るようにしたらどうか。

事務局（柿島） テーマの検討に時間をかけ、街道について今後検討する。3市のテーマ設定には3市だからこそできるテーマ、あるいは3市を比較することで新たな見え方が得られるようなテーマを選ぶようにしていて、旧石器時代をクローズアップする展示は3市だからこそできるもの。街道というテーマについても魅力的だと思うので今後検討する。

橋本委員 三島箱根、富士川、沼津港それぞれクローズアップできるよう。

加藤委員 歴史にばかり目が行きがちになるが、文化と歴史を使い分ける必要がある。

3すくみではなく、文化を見据えて積極的に行ってほしい。

迫田委員 3市合同の企画展に話に移ったが、良い話し合いができた良い会議でした。

5 閉会 事務局

14時44分（終了）